

戦争映画 資料展

戦争を知らない世代にも
平和の尊さが伝わる
企画展です。

入場
無料

2019年
7月10日(水)～10月6日(日)
9:00～17:00

休館日／月曜日[祝日の場合は翌火曜日]

展示場所／松永文庫 展示室
(旧大連航路上屋内)
門司区西海岸1丁目3-5

平和を願う



お問い合わせ／松永文庫
TEL 093-331-8013
E-mail: matsunaga.bunko@gmail.com
主催／松永文庫(レトロの街の映画・芸能資料館)

文化庁
国際文化芸術
発信拠点形成事業

1909025D号

平和を願う

「戦争映画資料展」

企画展によせて

大衆の娯楽であった映画が、どのようにして戦争に束縛され、利用されていったのか。人間が犯す最大の愚行、戦争。

原爆に象徴され、人々の心の中まで深く傷つける野蛮な戦争を、戦後、どのような反省と自戒を込めて描き続けているであろうか。

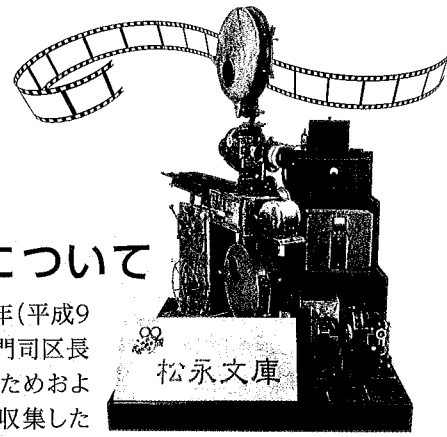
松永文庫は、今後もこの視点をテーマに据えて、毎年「戦争映画資料展」を開催したいと考えています。

それは、この場所が沢山の兵隊や、軍馬などが、愛する祖国、最愛の家族の幸せを願って出征した歴史を含んだ建物であるからです。

ポスター展示リスト(抜粋)

1	1942	ハワイ・マレー沖海戦	東宝
2	1959	海軍兵学校物語 あゝ江田島	大映
3	1968	ニイタカヤマノボレ 日本帝国の崩壊	東宝
4	1972	海軍特別年少兵	東宝
5	1972	あゝ声なき友	松竹
6	1979	英霊たちの応援歌 最後の早慶戦	東宝
7	1982	ひめゆりの塔	東宝
8	1988	火垂るの墓	東宝
9	1995	アンネの日記	東宝
10	1952	禁じられた遊び	フランス
11	1962	前進が死か	イタリア・スペイン・ドイツ
12	1971	帰郷	ソ連
13	1971	ジョニーは戦場へ行った	アメリカ
14	1972	白銀の戦場 スターリングラード大攻防戦	ソ連
15	1985	遠い日の家族	フランス
16	1987	太陽の帝国	アメリカ
17	1993	シンドラーのリスト	アメリカ
18	2001	ぼくの神さま	アメリカ

入場無料



松永文庫について

松永文庫は、1997年(平成9年)10月、松永武(門司区長谷)が、映画研究のためおよそ60年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009年(平成21年)11月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。北九州市の文化施設として、門司市民会館(門司区老松町)で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。2013年(平成25年)7月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。2016年(平成28年)5月、日本映画批評家大賞受賞。

新聞記事は生きている。 だから生かし続けたい。

松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。



レトロの街の映画・芸能資料館

松永文庫

展示室(旧大連航路上屋): 北九州市門司区西海岸1-3-5
TEL(093)331-8013 FAX(093)331-8012
E-mail: matsunaga.bunko@gmail.com

マンスリーシアター【イベント情報】会場: 旧大連航路上屋 2Fホール

2019年
7/28日 13:30開場
14:00開演

「**疑惑の影**」1943年
アメリカ映画
監督: アルフレッド・ヒッチコック

2019年
8/25日 13:30開場
14:00開演

「**家族**」1970年
松竹映画
監督: 山田洋次